

平成29年度 活動状況報告書

大和ライフネクストでは、以下の5点を活動計画に掲げ、平成29年度に関しては、特にマンション管理業の最前線でお客様と接する自社雇用のフロントマネージャー（管理員）に対して、今後の超高齢社会を迎えるにあたって必要となる知識を今以上に深め、その対応力を養うべく、以下の啓蒙・啓発活動を継続的に行ないました。

I. 高齢者の見守り

(1) 事務管理業務（管理組合会計の収入・支出の調停）

水道などの検針記入票のチェックに際し、水道検診値等の異常値を認めた場合に現場スタッフと連携し、お客様の万が一に備えた事態の確認に努めました。
当該年度については、特に異常値に伴う対応は発生しませんでした。

(2) 管理員業務（受付業務）

窓口にお見えになる高齢者の方々とのコミュニケーションを通じて、話し相手・相談相手となって、安心な毎日を送れるようサポートに努めました。
地域包括支援センターへの橋渡しなどの対応を致しました。

(3) 理事会・総会支援業務

災害等の有事に救助やサポートが必要な高齢者の把握を目的として、管理組合の入居者名簿整備の提案・推進に努めます。
災害時の要支援について、自己申告いただく名簿フォーマットについて管理マンションへ提案し、採用いただきました。

(4) 新シニアサポートサービス

当該期間中にサービス内容変更の為、新規受付を停止しています。
引き続き、拡大に努めます。

II. 「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発

管理マンションの管理組合理事会において、ちばSSKへの加入と主旨説明を行い、普及促進を図りました。

III. 認知症対策

新入社員には入社都度、講習を行い、全社員が資格保持者となっています。

IV. 高齢者の生きがい、健康、仲間作り

管理受託マンションの管理組合や自治会における敬老会等のイベントや高齢者向けサークル設立のご提案などを通じて、高齢者の生きがい、健康、仲間作りに関する活動に協力しました。

夏・秋のお祭りや餅つき大会など、子供から老人まで広く参加し、交流できるイベントを数多く企画、実施いたしました。

V. 高齢者の安心・安全

マンションの防災訓練のメニューとして、AEDの利用方法の講習等を行い、取り扱い方法等を学ぶことで、地域や職場で緊急の事態に遭遇したとき、出来ることから率先して行動できる人を増やしました。

VI. 高齢者の雇用促進

年配者のセカンドキャリアとしてマンション管理員に積極的に採用・登用し、また育てることで、長くやり甲斐を持って働ける環境整備に尽力しました。

なお、平成29年度の取組みトピックスは以下の通りです。

① 地域包括センターと連携した勉強会の開催

弊社のフロントマネージャー200名超に対し、全3回に分けて各地域の地域包括支援センターより、講師としてセンター員の方々を派遣いただき、社内講習として認知症講座を行ない、以下の内容について学びました。

- ・ 認知症のメカニズム、症状、治療、予防等
- ・ 認知症サポーターとしての認知症への関わり方
- ・ マンションの管理現場で実際に起こりうるケーススタディ

※講習の様様



② 福祉住環境コーディネーター資格の取得奨励

2017年7月および11月に行なわれました「福祉住環境コーディネーター試験」に際し、資格取得の奨励として合格者へ補助金を支給し、知識習得を促す取り組みを行ないました。

新しい知識を得る機会として、社会貢献として、自らの生活にも役立つ資格として、共に合格を目指し知識を習得した結果、25名が合格を果たしました。

今後は、弊社管理マンションにお住まいの居住者の皆さまが気軽に相談できる良きアドバイザーとして、更なる展開を進めて参ります。

③ 高齢者の生きがい、健康、仲間作り

築46年のマンションにおいて、住民参加の餅つき大会を開催し、高齢者を含めた多くの居住者が参加し、懇親を深める機会作りのお手伝いを致しました。

年配の方にも多くご参加いただき、餅つき特有の、こね方・つき方など年長者ならではの智識を疲労する機会を通じ、社会参加・社会認知といった好影響に繋がった点で取り組みの効果が高かったと感じます。

引き続き、高経年マンションにおける、イベント企画・支援を続けて参りたいと思います。

以上

平成30年4月19日
大和ライフネクスト株式会社
東関東支社
支社長 岡崎 洋輔